



2025年3月期 第2四半期（中間期）

H1 FY2024

決算概要



Enhancing planetary health

2024年11月12日

日揮ホールディングス株式会社

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

執行役員ファイナンスユニット部長の田口です。
2025年3月期中間期の決算概要をご説明させていただきます。

目次

- 2025年3月期 第2四半期（中間期）実績
- 2024年度 予想
- 参考資料



最初に2025年3月期中間期の実績、次に2024年度の通期業績予想についてご説明いたします。

2025年3月期 第2四半期（中間期） 実績



Enhancing planetary health

最初に2025年3月期中間期の実績です。

連結損益計算書

【億円】

	H1 FY2023	H1 FY2024	前年同期比	
売上高	4,032	4,067	+34	+1%
売上総利益	284	273	△ 10	△ 4%
利益率	7.1%	6.7%	△ 0.3pt	
営業利益	130	124	△ 5	△ 5%
経常利益	254	193	△ 60	△ 24%
親会社株主に帰属する 中間純利益	125	127	+1	+1%
1株当たり中間純利益	52.29円	52.87円		

中間期の連結損益計算書です。
売上高は前年同期横ばいの4,067億円、
売上総利益は微減の273億円でした。
9月末がドル円142円台という円高水準だったことで粗利益率は6.7%と
若干低下しました。
営業利益はほぼ横ばいの124億円でしたが、経常利益は193億円と
前年同期比60億円減でした。
経常利益の減益も円高による外貨建資産・負債の評価替えの影響です。
一方、親会社株主に帰属する中間純利益は実効税率の低下により、
前年同期比横ばいの127億円となりました。

売上高から営業利益までは通期予想に対して50%弱の進捗となっています。

セグメント情報

【億円】

		H1 FY2023	H1 FY2024	前年同期比	
総合エンジニアリング	売上高	3,755	3,782	+26	+1%
	セグメント利益	122	118	△ 4	△ 4%
	利益率	3.3%	3.1%	△ 0.2pt	
機能材製造	売上高	257	265	+7	+3%
	セグメント利益	37	37	+0	+1%
	利益率	14.6%	14.3%	△ 0.3pt	
その他	売上高	19	19	+0	+3%
	セグメント利益	6	5	△ 0	△ 14%
	利益率	33.0%	27.5%	△ 5.5pt	
調整額	セグメント利益	△ 36	△ 37	△ 0	-

中間期のセグメント情報です。

総合エンジニアリング事業は、国内のライフサイエンス関係での減収を海外の化学関係の増収で補う形となり、売上高は前年同期比横ばいの3,782億円、セグメント利益は118億円でした。

機能材製造事業は、ファインケミカル製品、電子材料、半導体製造装置用部品を中心に需要回復の兆しがあり増収となったものの、触媒関連が前期並みには届かず全体としては前年同期比横ばいとどまりました。売上高265億円、セグメント利益37億円です。

セグメント情報

受注の状況（総合エンジニアリング事業）

i) 受注高

【億円】

	H1 FY2023	H1 FY2024
海外	440	3,306
国内	1,148	409
合計	1,589	3,716

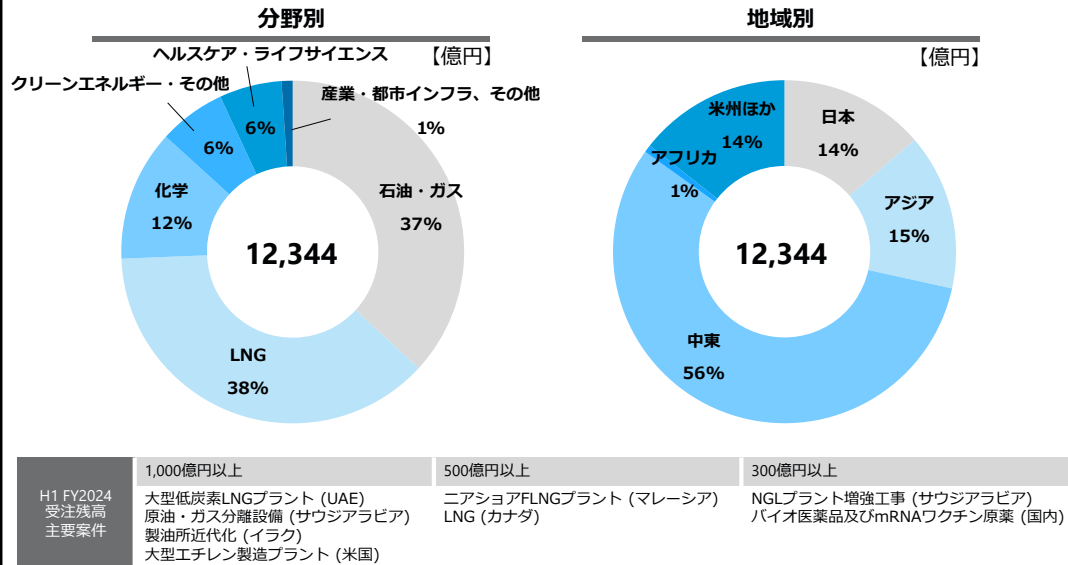
H1 FY2024
主要受注案件

大型低炭素LNGプラント(UAE)

総合エンジニアリング事業の受注の状況です。
2024年度上半期の受注高は全体で3,716億円となりました。
海外は、第1四半期にUAEのLNG案件を受注しましたが、
第2四半期に入って追加があり増加し、3,306億円となりました。
国内は石油・ガス関係を中心に409億円となっています。

セグメント情報

ii) 受注残高 (2024年9月末)



受注残高です。
9月末の受注残高は1兆2,344億円となりました。
分野別、地域別の構成割合は第1四半期末から大きく変わっていません。

連結財政状態及びキャッシュ・フロー

【億円】			
	2024年3月末	2024年9月末	増減
総資産	7,922	8,049	+126
純資産	3,878	3,950	+71
自己資本比率	48.7%	48.9%	+0.2pt
JVキャッシュ 当社持分	1,481	1,203	△ 277
	H1 FY2023	H1 FY2024	前期比
営業 キャッシュ・フロー	162	583	+420
投資 キャッシュ・フロー	△ 133	△ 82	+51
財務 キャッシュ・フロー	△ 116	△ 147	△ 30
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,336	3,561	+224

連結財政状態とキャッシュ・フローです。

プロジェクトの進捗に伴う入金により現金預金が増加したことや
投資有価証券の評価替えなどにより総資産は126億円増加し、
8,049億円となりました。

自己資本比率は期初から横ばいの48.9%でした。

営業キャッシュ・フローは583億円のプラスとなりました。

国内外プロジェクトで売上債権の回収が進んだことや前受金の入金により
前年同期を大きく上回りました。

投資キャッシュ・フローは有形固定資産の取得などにより82億円のマイナス、
財務キャッシュ・フローは配当金支払などにより147億円のマイナスでした。
現金及び現金同等物の残高は3,561億円です。

2024年度 予想

A stylized globe graphic composed of a grid of small blue dots, showing the continents of Asia and Australia. It is positioned on the right side of the slide, partially behind the text "Enhancing planetary health".

Enhancing planetary health

次に、2024年度の通期業績予想についてご説明いたします。

2024年度の業績見通し

		【億円】	
	FY2024 業績予想	H1 FY2024 実績	進捗率
受注高(※)	9,700	3,716	38%
売上高	8,300	4,067	49%
売上総利益	580	273	47%
利益率	7.0%	6.7%	
営業利益	260	124	48%
経常利益	340	193	57%
親会社株主に帰属する 当期純利益	230	127	55%
1株当たり配当金	40.0円		
換算レート(米ドル)	145.00円		

(※)総合エンジニアリング事業

通期の業績見通しです。

受注高の予想に対する進捗率が38%にとどまっており、期待案件の動きが想定よりも遅れています。
そのため社内の稼働率が低下傾向となっており、動向を注視していますが、今のところ5月の公表値は据え置いています。

以上で2025年3月期中間期の決算概要の説明を終わります。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com